

留萌市☆五志道

農村の魅力を感じられる、農家との心の交流を促進

活動分類

■食・産業・観光

活動背景・目的

留萌市における農村地域の活性化と子どもたちに対する体験学習を推進する。

留萌市は全道でもトップクラスの高品質米を生産してきた地域ですが、米価の下落、就業者の高齢化や減少など、多くの問題を抱え、若手農家はリスクを伴う地域貢献活動を敬遠してきました。一方、子どもたちに対する危機管理意識の高まりの中で遊び場所も制限され、実体験の少ない子供が多くなったことから、教育現場から農業体験に対する期待が高まっていました。そうした背景をもとに、平成16年に結成された農村青年グループ留萌市☆五志道は平成19年から市内の子供たちを対象にした、「体験学習の推進」と「農村地域の活性化」を推進しています。

代表者:佐藤 剛信

連絡先:〒073-3168

留萌市大字留萌村字幌糠 1954 番地
(るもい農業協同組合幌糠事業所内)

TEL: 0164-46-1211

活動地区:留萌市

活動内容

- ・田植え、稲刈り体験・田んぼの生き物学習会
- ・児童農村絵画コンテスト

【農業体験】

農家の協力を得て、留萌市内小学校児童を対象に田植え体験や稲刈り体験などの農業体験の受入を行っています。農業体験を通じ、留萌市内の子ども達の心に、お米や農家、農村の思い出を刻むとともに、多くの人々が農村での心の触れ合いを満喫しています。

【児童農村絵画コンテスト】

平成20年から、子供たちのお米や農村に対する親近感をより深めることを目的として、「児童農村絵画コンテスト」を開催しています。



▲田んぼの生き物学習会の様子



▲青空教室による交流

今後の展望・課題など

- ・平成22年5月に食農教育活動の充実、発展を図るために、南るもい農業協同組合や自治体(留萌市、留萌市教育委員会)などへ呼びかけ、留萌市食農教育推進協議会を設立。連携のルール等を明確にした上で活動の一層の推進を図りたい。
- ・農業体験学習には農家の協力が絶対的に必要。食農教育がなぜ必要なのか周りの農家や一般市民に理解してもらうために、周知活動を展開したい。
- ・いずれは、留萌市民が食べ支える農業を展開すべく、食育米の店頭による有利販売や市内商店街限定の商品券の創設などより一層、農村地域の活性化に貢献できる活動を取り入れたい。